

け や き

Vol.33

2022.12

発行/宝塚さざんか福祉会
宝塚けやきの里

今年もありがとうございました

「今年も残すところ、あとわずかとなりましたが…」というフレーズを耳にする機会も増えた年末の今日この頃、いつも冬至の日には、ゆず湯に浸かるカピバラの映像に心癒されています。

日本には、素敵な風習がたくさんあり、そこに込められた思いや願い、祈りは素晴らしいものだと思います。四季折々の中で、日々への感謝も忘れられないようにしたいと思います。

冬至の日には、かぼちゃとゆず湯が定番だと思っていたのですが、無病息災を願って「冬至の七種（ななくさ）」というものもあることを最近知りました。その七つは、「南京 なんきん（かぼちゃ）」「蓮根 れんこん」「人参 にんじん」「銀杏 ぎんなん」「金柑 きんかん」「寒天 かんてん」「饅頭 うどん」です。たくさんの「ん」がついており、「ん＝運」を呼び込めるといふ響きからこれらの食材が冬至の七種として食べられるようになったそうです。

ここ数年は無病息災への祈りがより強まったと思いますが、カピバラのようにホッと一息、体の力を抜けるような時間も持ちたいと思います。

今年は皆様との新しい出会いがとても楽しい年でした。本当にありがとうございました。来年度も引き続き、事業所運営にご協力いただけますことをお願い申し上げます。それでは、よいお年をお迎えください。

所長 福田 加奈子



今月のトピックス

年に一度のお楽しみ

11月29日（火）に日帰り旅行の代替行事を実施しました。準備段階から利用者の皆様にも携わって頂き、お一人おひとりのご希望をお聴きしながら外出先を調整しました。市内のレストランを目指して5グループに分かれて出かけ、各グループ毎にランチを堪能しました。昼食後はスーパーやコンビニに立ち寄り、スイーツを購入するグループもありました。





和食に洋食、スイーツ
と思いに食を楽し
みました。ナイフとフ
ォークの扱いもおての
もの☆



お会計も
バッチリ☆



当該行事は余暇取り組み等の一環ではありますが、社会の中で人と人との関わりながら生きていく為に欠かせないスキルを身につけることや、活動を通してお一人おひとりの興味や関心等の幅を広げていくこともねらいとしています。

今後も皆様のご意見に耳を傾けながら、楽しく実りある活動を提供させていただきます。

編集後記

今年もたくさんの方にお世話になりました。我々事業所或いは法人の事業運営は職員だけで成り立つものでなく、利用者の皆様をはじめ、そのご家族、或いは地域の皆様、関連機関等、たくさんのご理解や支えが不可欠です。我々職員も皆様の日頃のご支援に感謝しながら、地域の社会福祉法人であるということを改めて自覚し、その期待に応えることができるよう尽力して参ります。

主任・サービス管理責任者 片山 翼

社会福祉法人 宝塚さざんか福祉会 宝塚けやきの里

〒665-0825 兵庫県 宝塚市 安倉西4丁目1番1号 TEL:0797-81-9161 FAX:0797-81-9162

e-Mail: keyakinosato@sazankafukushi.com HP: <http://www.sazankafukushi.org/>

